



CNC News No.10

2004.4.27

<http://www.cc.saga-u.ac.jp/>

問い合わせ

本庄キャンパス(メインセンター) :8592

鍋島キャンパス(医学サブセンター) :2154

パスワード変更URL

<https://intauth1.edu.cc.saga-u.ac.jp/>

1. W32.Welchia.Worm に対する注意

1. W32.Welchia.Worm に対する注意

本庄及び鍋島の両キャンパスでは、Welchiaというウイルスに感染したPCにより学内LANの通信が極端に遅くなるという状況が続きました。このウイルスは、Windowsのセキュリティホールから感染するウイルスです。このウイルスに感染したPCは、ウイルスの活動によりPINGを1秒間に数十回送信することによって、現在動作中のコンピュータを探してウイルスを感染させます。そのため、このウイルスの動作中は学内LANのトラフィックが増大し、学内LANの通信に負荷をかけネットワークを利用するユーザに迷惑をかけます。

このウイルスに感染した場合は、Windows Updateを行いウイルスの駆除を行ってください。

また、ウイルスに感染しないように下記の対策を必ず行ってください。

(1) WindowsXP/2000 での Windows Update

WindowsXP/2000 やソフトウェア(IE, Outlook など)のセキュリティホールから感染するウイルスは、セキュリティホールに修正プログラムを当てないかぎり何度でも感染します。

Microsoft社は、WindowsXP/2000やソフトウェアにセキュリティホールが発見されると修正プログラムを配布します。WindowsXP/2000には、この修正プログラムをダウンロードし実行するWindows Updateと呼ばれるオンライン拡張機能があります。Windows Updateに関する詳しい内容については、Microsoft社のWindows Update総合情報製品サポートホームページ(<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=fh;ja:wupd>)をご覧ください。

WindowsXP/2000をお使いのユーザは、Windows Updateを行ってください。但し、Windows UpdateによりWindowsXP/2000に不具合が起こることが稀にありますので、必ず重要なファイルなどは他のメディアにバックアップを取ってからWindows Updateを行うようにしてください。

(2) ウィルス対策ソフトのウィルス定義ファイルのアップデート

AntiVirusなどのウィルス対策ソフトは、最新版のウィルス定義ファイルにより新種のウィルスなどの侵入を防ぐことができます。このウィルス定義ファイルが最新版になっていなかったり、ウィルス対策ソフトが期限切れでウィルス定義ファイルが更新できないユーザが、よくウイルスに感染しているようです。

ウィルス定義ファイルは、毎日自動的にアップデートを行うようにウィルス対策ソフトの設定を行ってください。AntiVirusの設定方法については、学情センターホームページをご覧ください。

また、ウィルス対策ソフトが期限切れになっているユーザは、ウィルス対策ソフトの入れ替えを行ってください。本庄キャンパスでは、メインセンターでAntiVirus(Windows, Mac)の貸し出しを行っています。鍋島キャンパスでは、医学サブセンターでSymantec Client Security(Windows)、AntiVirus(Mac)の貸し出しを行っています。